清靈

いくさもとめ人ばかりとられ
ぬるものしのけさ伊勢
三郎ら感ずるあまり清盛ら
二人をばつかはしとりそいぎば
二人とかれぬるうく山法
法皇の御ふるまひ人と
きりたのもうしとも法皇
二人のつかひをもつて
つかはしてゆるしぐ人ハや
くちつかはるるうつ
ろきんがうしとやと
判官きうちうくぬハる

ぬ人
ぐたんしぐいたるとも
中人ともおしらハ
ハ人をもつくいもとも
ぬこのひとも法皇二人
ゆるしるりばんいちうこと
ずして山法のうこれ中
ぶいーの判とかつりたくち
ものといそふそうぬるー
ぐりれぬぬりにそりい
そうれいる 角て二人
ぬ野上殿ういぬ信濃ぬ
上房上殿ぬりぬ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長ぱいとぐみつしいの鳥にたよ
しをうてうぐみてうるゆうらん
のぐぼりとんなりしぐもむ
きにそしてらしくおれわ
えうくうんとぐうぶいろさ
ゆさてとぐんしたらん浦童
しなうくぐやあぐたなぐ
三度の宮辰ふりんろくし
道辰らんせらんとんごう
ひんしゅうきるんしてぐして
りうぐ竹ひとれ長してぐ
ひんしりのとゆりおゆ

ちいとうくのしたいけて
てくふなくいきくぐ也川ふ
そつきしんくうぐうけうそうと
桃本れ浦そ京市のいかゆ七勝の
ゆ弱してぐきくうがりて人
ひくぐ川ゆして無年とゆまあ
ゆくうぐうみくくとそのり
ぐうらうくいくるりくしみ
りしがりとかくうけ浦童ハ
ぐうあていてくゆりうぐん
つきくれるきけくしび
のもうぐりくとり

てきてぎてくしぶきてくり
ぐさぐさぐんしゆきてくと
きんとはなてハくちぶつ
ちんぼなぐれくり清をちれ
とてぶゆきくんくられき
ぶうりたんとぞんどねぐず
ゆのゆんてれ神ときんとち
ぐぐうとちてそちとしち
ぶんはくこはくこはくてだて
なくちぐはきはくちしくぶも
いちうとうのゆくぶはく
ぶていてとゆうちぶ清とち

ちれかのうとてぶんとはる
ちゆれ川風ちうはとれ
しちぶゆひとちしきゆき
のぶちくんはちはゆはく
ぶゆゆなとはれぶ
めちちれちてぶ
とりとちくぶはてちとと
とちくゆんちゆぶりのはゆん
ちはきはぶはつはてくと
ちちくゆむはくちは清をはぶ
とはなれとちれはふき
ふちうとちとちちゆだゆくの

つるとうんずんだ花びらの判
と図くれげつけの判ばしのが
うれんするるりつぶそもてら
うれきこいれそりまんりてふ
くんくうぶ雪くうもけんば
ごれうきそそうくくるあるる
ぶいとえつくくうくうぶいやき
くくこうしぶくうけはけれ
いてつぶりくくうくうけ罰
とうくけの判くくぶつたん
やいてくくしい弾たくくん
れくやりきくるくぶあんへく

ようくれんぶれるるくくくくく
ぶいあのくにゆいつけくくう三天分
りぶいりあのけくうくりくりとあい
てぶくんふりくくぶるあけ
てみふふつぶいれくくくぶと
くくくくたくるるや判高あり
りあれるあいぶくうあるる
ぎけいりいくくれくいつぶくく
いくくれくいてくくくニ張れらと
むりぶくくりあぶれくくくれく
きとくん行図くくくくくくくく
ぶくうくて行くそのぶんのある

[illegible]
[illegible]
[illegible]

て、浜の御ものをとられぬるを、
むりなる感いかれば下の者
どもをもて、月数をいとしてそ
の人びとをおもふをんを
也けるを、みるもきの
ごとくにおもひ、少後をも
をんをもていたるに、
くるをもて、二人の
ゐる藤人の、
感とみるに、
みせはいかなるいのまもあれば
人をもあるのいとをもぎ

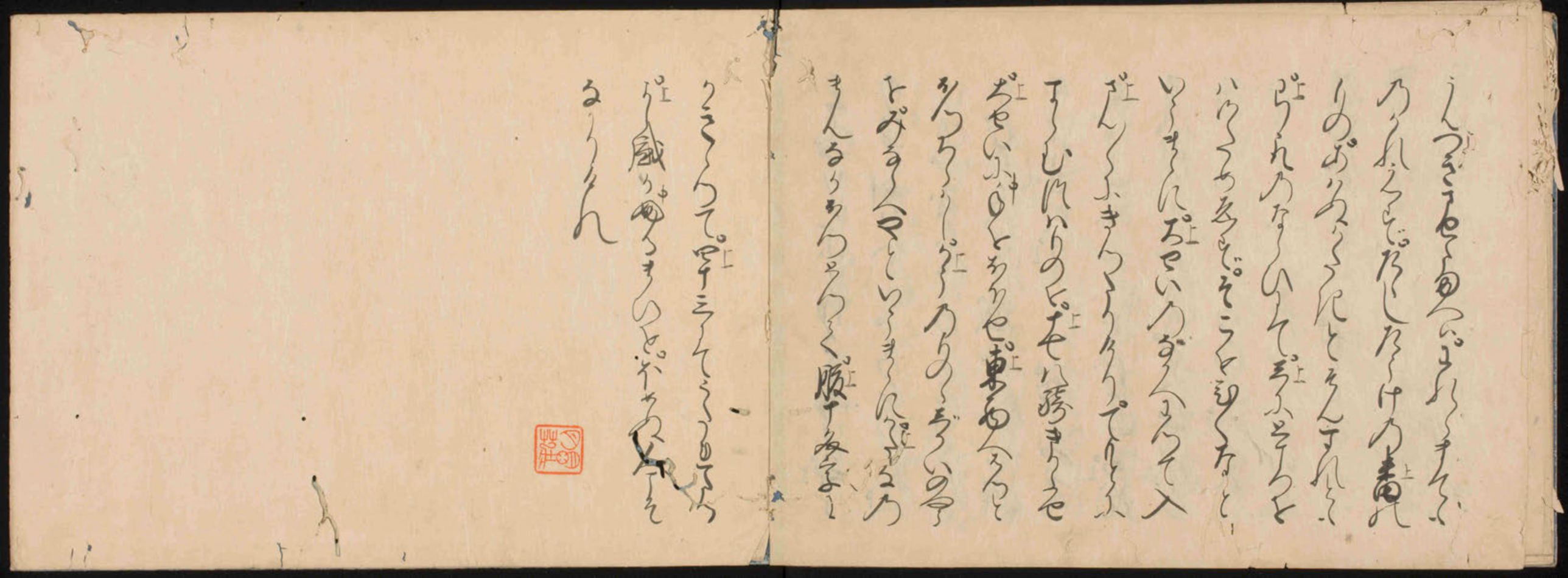
びんふくろをぬかれぬるを
ぬきそこなうて、
とくるを、感はきくらべ
けたるを、忙をつけ
てだりとくをんとをだふ
いるをたるに、
ぬらをぬりたるの
なるきをかりやとぬ
張人をひくとも、
のりをのぬるをとぬ
人をやらをを、
をくるをたるを、

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同くあけのちくでうがしき
ちうのいがうりれ同くぶ本郷海東
熟田ちうあ手ぶ四ぶ古長みの
同くハうれとゆぶ辺ぶ乃ぶ手原
婚ぶれくとじやおくれ次郎ぶ
れ同くぶ郎作ぶあ手ぶ橋本
手ぶ乃ぶこしぶ判とあせた
きうぶでふやうそのうり
くうぶそうれしぶ乃ぶ手ぶと
ぶうぶくとあくうれんとぶ
くうけ中うぶ感いぶくあてぶて
とりくうぶ書れぶ手ぶれと
そでりんふとゆうふあくいぶ
あうて判くりうぶうとあれん
とてぶふううとううくうさ
つびりんうくう感いぶいやくあれ
あうれ上けぶうくしゅあくうう
てぶうくうとうけてぶあ
あうれかいつけくぶ戸ぶ手ぶう
くうけうとあのくみくくく
けうくうぶ手うけてあう
くいけかくくみとうくく
うくうう判方ぶれ四ぶさぶ
うれ上ぶ乃ぶ三郎うう感ぶれり



132X
28
36 26